

東北地方太平洋沖地震で被災された方々への支援を呼びかける決議

3月11日14時46分頃、三陸沖を震源とする非常に強い地震が発生し、東北地方を中心として広い範囲で大きな被害が発生しています。

今回の災害により犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに被災された方々には心からお見舞いを申し上げます。

今回の想像を絶する地震・津波その後の余震や火災などに対し、緊急に求められていることは、原発災害や二次被害の危険除去、行方不明者の捜索、被災者の生活支援等であり、極めて迅速な対応が

求められています。そのためには、国を初めとし、全国民レベルでの支援を行うことが必要と思います。

以上のことから富良野市議会は、今回の地震・津波・原発災害で被害を受けた方々を救援するため、被災地の方々の実態と要望に応える支援を全市民の理解と協力を呼びかけるとともに、本市議会も被災者の苦難に思いをいたし、市民と協働して全力で支援を行うことを決議します。

平成23年3月18日

富良野市議会

平成22年度一般会計補正予算を修正可決!!

東北地方太平洋沖地震に対する災害義援金300万円の提案に対し、その妥当性について多くの議員から質疑や増額すべきとの立場で意見が出されました。さらにその後、修正動議が提出され、義援金を600万円に修正し可決しました。

〈修正理由は次のとおりです〉

本市は農業と観光を基幹産業として、多くの観光客を迎えるなど現在まで発展をしてきた。震災から一週間、今回の災害は東北6県をはじめとして、本日付の新聞報道でも死亡、行方不明者1万5千人。避難者38万人を数え、その惨状については、連日メディアを通じて報道されている。さらに、原子力発電所も被害を

受け、その中でさらに被害の拡散を防ぐために、いま、命がけの行動をされている方もたくさんいる。

300万円の提案理由について、道内の市町村の取り組み状況、過去の本市の対応などを参考に提案したことだが、過去の対応や観光をはじめ、全国の皆さんに支えられて発展をしてきた本市にとって、これは参考となるものではない。

代表者会議においても、本市としてのメッセージとして増額すべきとの意見が大勢を占めた。修正については、600万円に増額すべきとの方向で全会一致の結論を見た次第である。

以上、補正予算修正についての提案の説明とする。

編集後記



「入学」を期待する。
▼広報委員として議会だよりに携わり、市民の皆様へ愛読して頂いていますことにお礼申し上げます。

議会広報特別委員会

委員	東海林	孝
委員	佐々木	優
委員	大栗	民
委員	千	健
委員	今	利
委員	大橋	秀
委員	大橋	幸
委員	大橋	伸
委員	大橋	夫

▼さて、3月といえば「卒業」。
保育所・小学校・中学校・高校・大学・専門学校と新たな未来へ向け4月「入学」。どんな未来が待っているのか？

▼市議会も改選期で18名が「卒業」。ふらののまちづくり、開かれた議会を目指して奮闘した4年間。成果もあれば課題もある。
▼課題を克服し、これまで以上に市民が安心して生活をおくれるまちづくりに奮起する18名の



お知らせ

今回の議会開会予定日につきましては、本年度が議会議員の改選期のため、臨時会がまず開催される予定になっていますが、まだ確定していません。

日程は、決まりしだい広報ふらの、議会ホームページ等でお知らせする予定にしています。

なお、詳細については議会事務局までお問い合わせください。

問い合わせ 議会事務局 ☎090-22222